

宇美町立こども療育センター
すくすく
だより

**こどもの成長に
保護者の喜びの声!**

☑ 宇美町立こども療育センター「すくすく」
(貴船2-40-2) ☎ 934-3933



▶ みんなでミニひまわりの種を植えました。今年はとても暑い日が続きましたが、綺麗な花がたくさん咲きました。

▶ お母さんと一緒に白玉粉を使って、「白玉せんべい作り」に挑戦しました。自分で作ったせんべいを美味しく頂きました。



「すくすく」の集団療育に通っている保護者の方からお寄せいただいた、子どもへの思いや感想などを紹介します。

ことばの遅れや度々起こす癇癩かんしゃくに困っていたところ「すくすく」を勧められ、集団療育に参加する事になりました。辛いと思うことがある度に、先生方が我が子はもちろん、私にも寄り添い、時には背中を押して下さり、親子共々すぐ成長できたいように思います。また、親子二人きりで過ごす貴重な時間を持つ事ができ、大変ながらも楽しい毎日です。我が子が何故泣いているのか解らず辛かったあの頃が昔の事のように感じています。

つかママ

1歳過ぎくらいから気になり、安心するために病院に行ったら…。「すくすく」に駆け込みました。私の心も崩れかけ一杯一杯でした。「すくすく」は唯一親子で通える場所なので、大事にしています。いつも優しくとなりでサポートしてくださるので、すぐありがたいです。心配していた言葉もすっかり上手になって、次は就学の事を先生と一緒に考えていきたいと思っています。ここでの先生、お友達、ママさんとの出会いにも感謝です。

りあママ

難病の治療と並行して始めた療育も、もう4年になります。人見知りが激しく、なかなか心を開けなかつた娘ですが、先生方がいつも優しくじっくりと接して下さったおかげで、今は笑顔が増え楽しく通っています。悩んだり不安になることが多かつた私自身も、先生方のアドバイスや励ましの言葉に支えられ、前向きにこどもの成長を見ていこうと思えるようになりました。こどもと笑顔で向き合うために「すくすく」に出会えて本当に良かったです。

のママ

偏食があり、保育園に通い出した頃、担任の先生から言葉は出るが、相手の話を理解することが難しいと言うこともあり、今、通っている「すくすく」を紹介していただきました。個人個人に合った支援をして貰え、できなかつた事が自信を持って出来る姿を見れ、私も前向きになれました。子どもと一緒に成長できていることが、とても嬉しく思います。

はるママ

**こども療育センター「すくすく」では
個別相談や個別療育も行っています**

個別療育では、専門スタッフがお子さん1人ひとりに合った支援を行います。

- 臨床心理士が生活習慣・生活リズムを整えるアドバイスなどを行います。
- 言語聴覚士が身振りや話し言葉など、ことばの理解や発達を促します。
- 作業療法士と歩く、登る、走るなどの運動の基礎づくりをします。

お気軽にご相談ください。

2020年刊行!

新しい宇美町誌、目次決定!!

☑ 町制施行100周年事業推進事務局 町誌編さん係 ☎ 957-6082

宇美町町誌編さん委員会会議において、調査研究と議論を重ね、新しい宇美町誌の掲載内容が決まりました。新しい町誌は、町民の皆さんに広く親しまれ、活用される町誌とするため、写真や図を多く取り入れた読みやすい体裁を目指しています。

現段階では、上巻下巻の2部構成・A4版カラーで、町制施行100周年を迎える2020年に刊行予定です。今回の町誌編さん事業は、本を作るだけでなく、貴重な資料の散逸や消失を防ぎ、収集した資料の整理・保存活用を図るための調査研究も行っています。

総論 「宇美について」

第1編 「自然」

「三郡山系の山々と昭和の森」「四王寺山周辺の自然」「井野山周辺の自然」など、町にある樹木や花などの分布と生態について掲載します。写真を多く載せた図鑑のような体裁にする予定です。

第2編 「地質・古環境」

「古第三紀の湖沼と森林」や「第四紀の段丘」など、大昔の宇美の環境や、どのようにして今の自然環境が形成されてきたのかについて掲載します。身近に残る化石や地層を紹介した図鑑のような体裁にする予定です。

第3編 「原始」

町内にある遺跡の発掘調査と発掘された出土品を中心に、旧石器時代から古墳時代までの歴史を掲載します。「井野川と宇美川近郊で米作りをはじめた弥生時代」「糟屋郡内最大の前方後円墳 光正寺古墳が造られた古墳時代」「邪馬台国と不弥国」など、身近な遺跡と出土品から、町の歴史をひも解いていきます。

第4編 「古代」

文献史料と発掘調査の研究成果から、宇美の古代史をひも解いていきます。文献上で日本最古の古代山城とされる「大野城跡」の歴史を中心に、「四王寺山に創建された四天王寺」や「古代の仏像」などを掲載する予定です。

第5編 「中世」

古文書の研究成果を中心に、平安時代の終わり頃から戦国時代までの宇美について掲載します。「元寇と宇美- 笠崎宮御神体 極楽寺へ -」「戦国時代の宇美」「町内に残る城跡」など、これまであまり知られていなかった「宇美の中世史」を古文書からひも解いていきます。

第6編 「近世」

町内に残る古文書の研究成果を中心に「福岡藩と宇美」「人々の暮らし」「学問」「産業」など、江戸時代の宇美について掲載します。なお、幕末には、三条実美など明治維新で活躍した人物が宇美を訪れています。このような幕末・明治維新という激動の時代に生きた人々と宇美の関わりについても、ひも解いていきます。

第7編 「近代」

主に明治時代から昭和初期までの宇美について掲載します。町内外に残る膨大な近代資料から、「宇美村から宇美町への移り変わり」「炭鉱の様子」「勝田線などの鉄道史」など、近代化していく町の歴史をひも解いていきます。

第8編 「宇美八幡宮」

「宇美八幡宮の信仰と伝承」「宇美八幡宮文書からひも解く歴史」「祭」「天然記念物のクスノキ」など、さまざまな分野から宇美八幡宮の魅力に迫る内容を予定しています。

第9編 「民俗」

町内各地域の神社・お祭・記念碑・伝承など、幅広い内容を取り扱っており、「年中行事」「地域に残る神仏と祭」「石碑と記念碑」など、わたしたちの暮らしに身近なものの歴史について掲載します。また、「懐かしのふるさと写真集」と題し、明治から昭和初期頃までの町の様子を写した写真も掲載する予定です。

第10編 「現代」

今の町の様子を未来へ正しく伝えることも町誌の大切な役割といえます。現代編では、議会・行政・財政・福祉・都市・環境・教育など、今の宇美町について掲載します。

附録 「統計資料と年表」

※編の内容は変更する場合があります。ご了承ください。